

# スターティアホールディングス | 3393

Sponsored Research

2026年2月13日



Sessa Investment Research

## 業績上方修正と増配はポジティブ・サプライズ

Q3 Flash

### 2026/3期Q3決算レビュー

- ◆ スターティアホールディングス株式会社(以下、同社)は、2月13日に2026/3期 Q3(10-12月期)決算を発表。売上高は前年同期比7.2%増の5,801百万円、営業利益が同22%増の709百万円、経常利益が同19%増の736百万円、当期利益が同54%増の605百万円であった。3四半期累計の実績は、下表のように、同7%増収、同11.4%営業増益を達成し、3四半期累計での過去最高を更新するなど、ネガティブ要素のない、上向きの業績モメンタムを確認した決算だったと言えよう。
- ◆ 会社側は2026/3期通期計画と期末配当を増額修正した。新予想は、6.3%増収、15%営業増益である。達成されれば、売上高営業利益率は13.3%、ROEは約28%と、国内屈指の高い収益性に達する見通しである。創業30周年の記念配8円の期末実施予定は据え置いたまま、期末普通配を10円上乗せし、普通配(中間54円+期末73円)と合わせて2026/3期の年間配当を135円とする。

**startia holdings**

### Q3決算におけるセグメント別の概要

- ✓ ITインフラ関連事業では、引き続きセキュリティニーズの高まりによりネットワーク関連機器の伸長が増収に貢献し、フロー売上は同8.8%増となった。光コラボ、電力小売りと法人向けトータル・サポート・サービス「ビジ助」の受注などのストック売上も同3.7%増と順調に積み上がった。新卒社員の早期育成により営業1人当たりの生産性が向上し、人件費増を吸収して、同セグメント利益は同19.3%増益の445百万円となった。
- ✓ DXソリューション事業は、クロスセル・アップセルの強化によりARPU(1社あたりの単価)が同11.5%増加し、同セグメント売上高に占めるサブスクリプションモデルによるストック売上割合は84%に達した。セグメント売上高は同8.9%増の1,210百万円、セグメント利益は同63.5%増の222百万円と大きく伸長した。

※ SIRでは取材後にフォローアップレポートを作成・発行する予定である。

百万円	売上高	YoY (%)	EBITDA *	YoY (%)	営業利益	YoY (%)	経常利益	YoY (%)	当期利益	YoY (%)	EPS (円)	DPS (円)
2023/3	20,004	24.9	2,258	241.1	1,724	400.0	1,844	232.9	1,212	26.5	135.11	41.00
2024/3	19,571	-2.2	2,712	20.1	2,282	32.4	2,253	22.2	1,546	27.6	165.32	69.00
2025/3	22,211	13.5	3,235	19.3	2,737	19.9	2,784	23.6	1,960	26.8	206.29	114.00
2026/3会予前	24,100	8.5	N/A	-	3,000	9.6	3,000	7.7	2,000	2.0	211.43	125.00
<b>2026/3会予新</b>	<b>23,600</b>	<b>6.3</b>	<b>N/A</b>	<b>-</b>	<b>3,150</b>	<b>15.1</b>	<b>3,190</b>	<b>14.6</b>	<b>2,160</b>	<b>10.2</b>	<b>230.61</b>	<b>135.00</b>
2025/3 3Q累	16,179	12.2	2,270	16.2	1,902	15.7	1,956	20.5	1,405	35.3	147.72	
<b>2026/3 3Q累</b>	<b>17,312</b>	<b>7.0</b>	<b>2,500</b>	<b>10.1</b>	<b>2,118</b>	<b>11.4</b>	<b>2,160</b>	<b>10.4</b>	<b>1,541</b>	<b>9.7</b>	<b>164.57</b>	

出所：同社IR資料よりSIR作成 \*EBITDA=営業利益+のれん償却費+株式報酬費用。

SIRでの財務データ処理は短信規定と異なるため記載数字は会社資料と相違することがある。

シニア・アナリスト 杉本 研一  
[research@sessapartners.co.jp](mailto:research@sessapartners.co.jp)



本レポートは当該企業からの委託を受けてSESSAパートナーズが作成しました。詳しくは巻末のディスクレーマーをご覧下さい。



Sessa Partners



## ディスクレーマー／免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したものですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や分析は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。



SESSAパートナーズ株式会社

東京都港区麻布十番2-8-14 i-o Azabu 5a  
[info@sessapartners.co.jp](mailto:info@sessapartners.co.jp)